

2023年度 細氷原稿「支部長挨拶」

日本気象学会北海道支部 支部長 室井ちあし

みなさん、こんにちは。今期の支部長を務めさせていただいております、札幌管区気象台長の室井です。日本気象学会北海道支部会員のみなさまには、気象学会、支部活動の運営にご協力いただき感謝申し上げます。



北海道支部が取り組むべき課題として、まず学会活動の維持・発展させていくことが最重要と考えております。会員数の減少が課題であり、また大学あるいは気象台などを取り巻く環境が変わっていくなかで、学会の魅力さをさらに高めていきたいと考えています。

具体的には、まずは気象に携わる社会人と、教育・研究機関たる大学との連携の場としての活動であり、これまでも支部研究発表会を開催してきたところですが、もっと日頃から、談話会やセミナーに、新型コロナウイルス感染症への対応で培った経験も踏まえて、オンライン環境も活用して参加しやすくすると、交流も活発化できるのではないかと思います。

また全国各地で大雨などの災害が発生し、地球温暖化の影響が懸念されるなかで、気象学への社会の期待は高まっており、気象予報士や防災に関心をもつ方々も増えてきています。我々も活動の裾野を広げて、そうした方々と広く連携して、地域社会への普及啓発活動を一緒に取り組むといったことも考えられると思います。

いずれにせよ、みなさまからお知恵もいただきながら取り組んでいきたいと思っておりますので、今後の支部活動の活性化に対するご協力をお願いし、ご挨拶に代えさせていただきます。